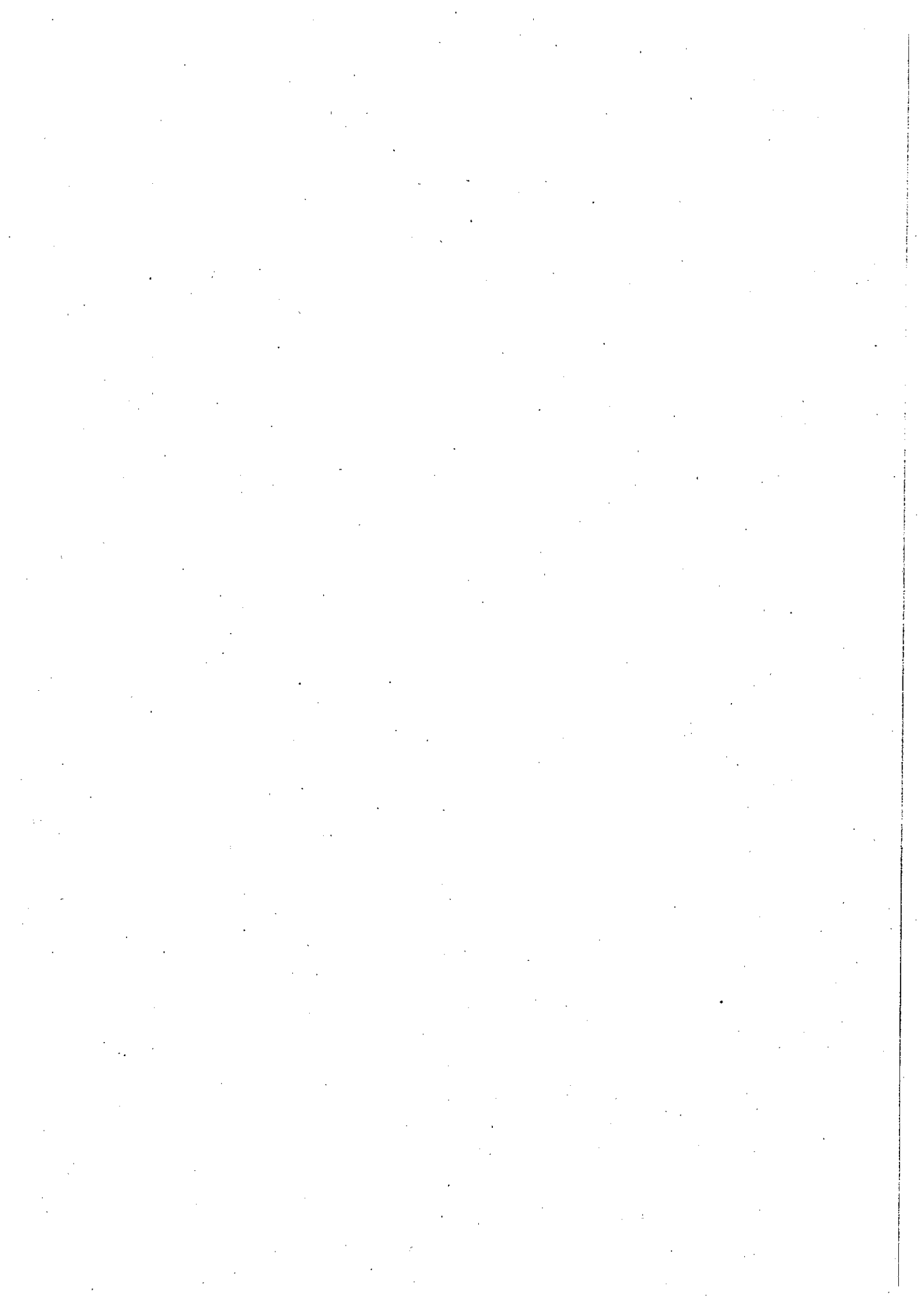



長崎のもぎき恐竜パーク
指定管理者候補者選定審査会審査報告書

令和3年5月



令和3年5月7日

長崎市長 田上 富久 様

長崎のもぞき恐竜パーク
指定管理者候補者選定審査会
会長 深見 聡 

長崎のもぞき恐竜パーク指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎のもぞき恐竜パークの指定管理者の指定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

(1) 第一順位 大成 NOMON グループ

2 選定審査会の構成

会 長	深見 聡	長崎大学環境科学部
委 員	岩下 俊明	長崎市社会教育委員
委 員	落合 知子	長崎国際大学人間社会学部
委 員	古賀 典明	長崎国際観光コンベンション協会
委 員	繁宮 悠介	長崎総合科学大学総合情報学部
委 員	田畑 芙弥	長崎市私立幼稚園 PTA 連合会
委 員	松尾 裕隆	九州北部税理士会長崎支部
委 員	三浦 宏一	野母崎連合自治会

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容や面接に基づき審査を行いました。

また、施設を管理運営する安定した経営能力を有するかについて、応募団体の財務諸表等により審査を行いました。

なお、審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、全ての審査において団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和2年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出 ・指定管理者制度の説明 ・指定管理者候補者選定審査会の概要説明 ・施設概要説明 ・募集要項の説明及び協議 ・指定管理者選定に係る評価項目及び配点の協議
第2回	令和3年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・再公募の募集要項の説明及び協議
第3回	令和3年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・再公募に係る応募者の申し込み状況報告 ・審査方法（書類審査、面接審査）の説明及び協議 ・書類審査
第4回	令和3年5月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・面接審査 ・採点、指定管理者候補者の選定 ・審査報告書の協議

5 申請団体（1団体のみ）

- ・大成 NOMON グループ
 - 代表団体 大成不動産システム株式会社
 - 構成団体 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社
 - 構成団体 富士ビル総合株式会社

6 審査結果（採点結果は別紙のとおり）

(1) 第一順位 大成 NOMON グループ

ア 安定した経営能力について

代表団体及び各構成団体の各財務諸表等により資本金、直近売上、決算所得及び税務所得などの財務状況を審査した結果、令和元年度は業績が落ち込み、加えて、今後、新型コロナウイルスの影響も危惧されるが、施設の管理運営ができないという状況ではないと判断できる。

イ 事業計画について

- ・企画展年6回、ワークショップ、教育養成プログラム、講演会、出前授業など盛り沢山の教育活動の企画は評価できるが、「質の成果」を追求する姿勢を持ち運営してほしい。
- ・パンフレット等デザインの統一を図ることで、ブランド力の向上を図る点は、同施設にとどまらず、野母崎全体のイメージ向上に貢献すると考える。
- ・施設については、地域の現状をよく調査し、実態に基づいた計画を立てている。
- ・学びの場として（仮称）のもぎき大学や子どもたちへの学びの提供と魅力的であり、地域の活性化に繋がるものと考えますが、具体性がまだ十分に感じられない。
- ・多くの企画提案がなされており、全てがしっかりと実施できれば素晴らしいが、あまりにも多くの提案であり、全てこの通りに実施できるのかという不安もある。

ウ 基本事項について

- ・提案者はホテル経営のプロであることから、新型コロナウイルス対策や来館者へのおもてなしには期待できる。
- ・SDGs や SD（持続可能な開発）に基づく基本方針が適切に示されている点は評価できるが、一方でこれらが実行可能となり得るものか注目していきたい。
- ・地域団体との連携や助言を行うことにより、地域団体の物産販売による自立化を視野に入れており、相互にメリットを創出するような経営方針が確認できる。
- ・施設の設置目的に沿った方針が考えられており、地域の活性化についてもよく検討されている。

エ 管理運営体制について

- ・収支計画に記載がある修学旅行についての取り組みが事業計画に記載されていない。
- ・館長に関しても学芸員と同様に有資格者の配置を願いたい。
- ・人員配置については、具体的な数字を入れて地元雇用を考えているが、業務内容が今までに経験したことがない業務が多く、研修内容の充実が必要だと考える。
- ・地域の雇用については、地域を最優先に考えられており、地元へよく配慮されている。

オ 価格点について

指定管理委託料の上限額である 667,944 千円に対し、提案額は 657,924 千円であったことから、10,020 千円の経費削減に努めている。

7 審査会総評

(1) 総括的な講評

基本事項、事業計画、管理運営体制、価格については適切であり、提案内容についても地元への思いや使命感が伝わるような提案となっている。

また、恐竜パークの価値をおおむね適切に認識しており、特に地域の活性化に資する提案もなされ、自主事業への取り組みへの意欲がみられた。

しかしながら、あまりにも多くの企画や事業を実施する提案内容となっていることから、実際に実施できるのか不安が残るため、数よりも「質の成果」を追求する姿勢も持ちながら運営してほしい。

以上のことから、大成 NOMON グループは長崎のもぞき恐竜パークの指定管理者候補者として適切であると判断される。

(2) 選考審査委員会からの要望・意見

- ・小学生の修学旅行や社会科見学などでの活用も期待したい。
- ・テーマパーク的な発想も大切であるが、それ以上に先を見据えた地道な計画に基づいた恐竜の研究ができる拠点施設になってほしい。
- ・野母崎だからこそ可能な地域住民を取り込んだ恐竜博物館をコアとした活動を行ってほしい。
- ・恐竜博物館としての堅実な運営とイベント等の企画実施のバランスを再考し、より内容

の濃いものとして定着化をお願いしたい。

- ・ 人員に見合った規模のイベントや管理運営等の業務バランスについて、「働き方」の視点からも従業員への相応の待遇保証をお願いしたい。
- ・ 事業計画を前倒しする意気込みで運営をお願いしたい。
- ・ 親子で楽しめる場にしてほしい。
- ・ 理想的な方針は立てられているが、具体性に乏しく、内容的にもマンパワー的にも実現可能なのか、あるいはマンパワーの配置に偏りがあるのではないかなどの心配がある。
- ・ 5Gやライブカメラなど機器の使用効果が本当に必要なものなのか検討してほしい。
- ・ 企画展や（仮称）のもぎき大学など外部のコンテンツを活用する内容が多かったが、長崎ならではの企画展や地域住民が求める「大学」の内容を考えてほしい。
- ・ 毎年、改善を行いながら実施してほしい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点			採点	
	大項目	中項目	中項目詳細	各委員	計	全体		計
技術点	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、恐竜パーク全体及び個々の施設それぞれの設置目的に沿った成果が得られるような事業計画であるか	施設の効用を高めるための企画、イベント、情報発信についての基本的な考えが、恐竜パークの設置目的に沿ったものであり、魅力的なものか	4		32	23	
				12		96	54	
	事業計画	企画立案	恐竜博物館の企画展示、ワークショップ、教育養成プログラム、講演会等を行うにあたっての基本的な考えが、恐竜博物館の設置目的に沿った提案となっているか	・恐竜パーク内の自然や眺望、恐竜博物館をはじめとした各施設の特徴を生かした取り組みや情報発信など、年間を通じて施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案であるか ・複合施設としての利点を活かした事業となっているか ・ミュージアムショップは、恐竜博物館の特性を活かした商品を取り扱うことができるか ・地域活性化や観光振興に結びつくような自主事業の提案になっているか	10	30	80	45
					4		32	22
					4		32	27
	基本事項	評価と改善	事業の提案に創意工夫や評価・改善体制があるか	施設の管理・運営業務について、施設の設置目的等合った基本方針・理念を持っているか 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策はとられているか	4		32	27
					4		32	28
					4	16	32	27
					4		32	28
	管理運営体制	人員配置	施設の業務を有する者、企画展示を行うための知識・経験を有する者など人材の確保状況など	施設の維持・安全管理が適切に行えるか（業務における責任体制等明確化されているか）、また、職員研修はなされているか	4		32	21
4						32	28	
4					24	32	29	
4						32	21	
収支計画		施設の業務に係る収支計画は、事業計画等との整合性が図られているか、また、経費削減の取組みはなされているか	人員については、地元雇用(野母崎地域住民)を積極的に行うようになっているか	施設の業務に係る収支計画は、事業計画等との整合性が図られているか、また、経費削減の取組みはなされているか	4		32	27
					4		32	28
施設管理		施設及び設備の維持管理業務に係る基本的事項（清掃、点検業務、備品管理、職員研修など）は適切に遂行できているか	緊急時における連絡体制等危機管理体制は適切か	施設及び設備の維持管理業務に係る基本的事項（清掃、点検業務、備品管理、職員研修など）は適切に遂行できているか	4		32	27
					4		32	28
技術点 計				70		560	408 (73%)	
価格点		経費	経費は適正か		30	30	240	184
	※上限の範囲内において、一定の基準額までは経費の削減努力を評価しますが、その基準額を下回る場合はサービス水準の低下が懸念されることから、評価が下がります。		100	100	800	592		
合計				100	100	800	592	